

国際協力の歴史と動向：コース概要（目次）

第1章：初期の国際協力（第2次世界大戦前～1980年代）

1. 第2次世界大戦前：開発途上地域は欧米列強の植民地
2. 1940年代後半～1950年代：西欧諸国復興から、東西対立（冷戦）で援助競争開始
3. 1960年代：南北問題、国連開発の10年、ビッグ・プッシュ
4. 1970年代：経済成長アプローチ（トリクルダウン効果）の限界、BHN、新国際経済秩序、オイルショック、累積債務問題
5. 1980年代：構造調整アプローチ、ワシントン・コンセンサス
6. 国際協力の現場経験から①
7. まとめ・小テスト

第2章：国際協力の新たな潮流（1980年代後半～1990年代）

1. 新たな潮流の背景：貧困の深刻化、格差・不平等の顕在化、冷戦終結、グローバル化の進展、従来の支援アプローチの限界
2. 1980年代後半～1990年代半ば：地球環境問題、人間中心、参加、ガバナンス、ジェンダー配慮、平和構築
3. 1990年代後半：DAC新開発戦略、包括的開発フレームワーク、重債務貧困国の債務帳消し、貧困削減戦略文書
4. 国際協力の現場経験から②
5. まとめ・小テスト

第3章：21世紀の国際協力（2000年代～）

1. 2000年～2015年：MDGs、援助効果向上、MDGs結果の評価
2. 2015年～：SDGs
3. 国際協力の現場経験から③
4. まとめ・小テスト

第4章：まとめ（第2次世界大戦前～2000年代）

1. 第2次世界大戦前～2000年代のまとめ